

LED照明の特長

最大の魅力は、「低消費電力」「長寿命」がもたらす経費削減効果。どんな照明なのか、基本的な訴求ポイントを押さえましょう！

特長 その1 白熱電球と比べると



1/10の低消費電力

同じ明るさの白熱電球と比較すると、消費電力は10分の1程度。蛍光灯や省エネタイプ電球と比べても3分の1。

大幅な節電を実現します。



40倍もの長寿命

LED照明は、白熱電球の約40倍長持ち。交換の手間が40分の1に激減！だから電球代も結果的には安上がり！

【定格寿命】約40,000時間とは、「全光束が初期全光束の70%、または光度が初期光度の70%に低下するまでの時間とする」と定義されています。

電球単価だけ比較すると、白熱電球のほうが安い印象がありますが、消費電力と製品寿命の長さを勘案すると、

電球代だけで元がとれてしまうほど経済的！

※60Wの白熱電球を5.8WのLED照明に切り替えた場合、1日10時間の使用で1年間に約4,352円の電気代を節約。

知っ得Tips 1

白熱電球の生産はまもなく終了

経済産業省は2008年4月に、白熱電球の生産を2012年までに中止するようメーカー各社に要請。各社ともこれを受け、代替がきかない一部製品を除く生産中止を打ち出しました。現在、政府と業界とが協調して、環境負荷の少ないLED照明へのシフトが推進されています。事実、国内で初めて電球を開発した東芝(東芝ライテック)は、メーカー各社の先陣を切り、すでに2010年に生産を終了しています。



2012年までに生産中止

特長 その2 光色が選べる



昼白色タイプ

クールで爽やかな雰囲気が出る白っぽい色味。オフィスや勉強部屋など、集中力が必要とされる場所でもよく使われます。

オフィス向け



電球色タイプ

白熱電球に近い赤っぽい色味。温かい雰囲気を演出するので、食事や団らんの空間でよく使われます。

飲食店向け

知っ得Tips 2

色温度と演色性

LED照明のなかでも特にハロゲンタイプは、色温度が幅広く、自然光に近い優れた演色性が特長です。

「色温度」「演色性」は商品の色の見えに影響するため、特に飲食店や食品などを扱っている場合は、お客様にとって関心の高いスペックとなります。



白色蛍光灯: Ra=65



ハロゲン高演色タイプ LED照明: Ra=95

色温度 熱を加えたときに物質が発する光の色と熱の温度とを対応させ、色を数値化して表したものの。一般的な感覚とは逆に、寒色が高く、暖色は低い。単位はケルビン(K)。

演色性 物本来の自然な色味を表現する性能。演色評価数(Ra)によって表され、太陽光(Ra=100)のもとでの色味に近いほど演色性に優れていることになる。

知っ得Tips 3

「LED照明は暗い」はホント？

LED照明を選ぶ際、「白熱電球〇〇ワット形相当」という表記を参考にするのが一般的ですが、数値上は同じぐらいでも実際には若干暗く感じると言われています。最新のLED照明では「ほとんど気にならない」とも言われていますが、そもそも光の広がり方が違うため、明るさの印象が違うことは事実です。といっても、「雰囲気があってかえて良い」という声も多いので、暗いイコール必ずしもマイナス面とは限りません。



白熱電球

全方向に広がる。



LED電球

下方方向に広がる。



直下の明るさに優れています。電球の根元付近は暗く感じられる。

LED価格表

	従来品目安	消費電力(W)	光色	お客様価格(税別)
一般電球型	60W形相当	5.8	昼白色	2,200
	60W形相当	5.8	電球色	2,200
	100W形相当	9.8	昼白色	4,900
	100W形相当	9.8	電球色	4,900

	従来品目安	消費電力(W)	光色	お客様価格(税別)
小型電球型	40W形相当	3.7	昼白色	1,980
	40W形相当	3.7	電球色	1,980
	60W形相当	5.4	昼白色	3,980
	60W形相当	5.4	電球色	3,980